

自然エネルギー関係参考資料 (案)

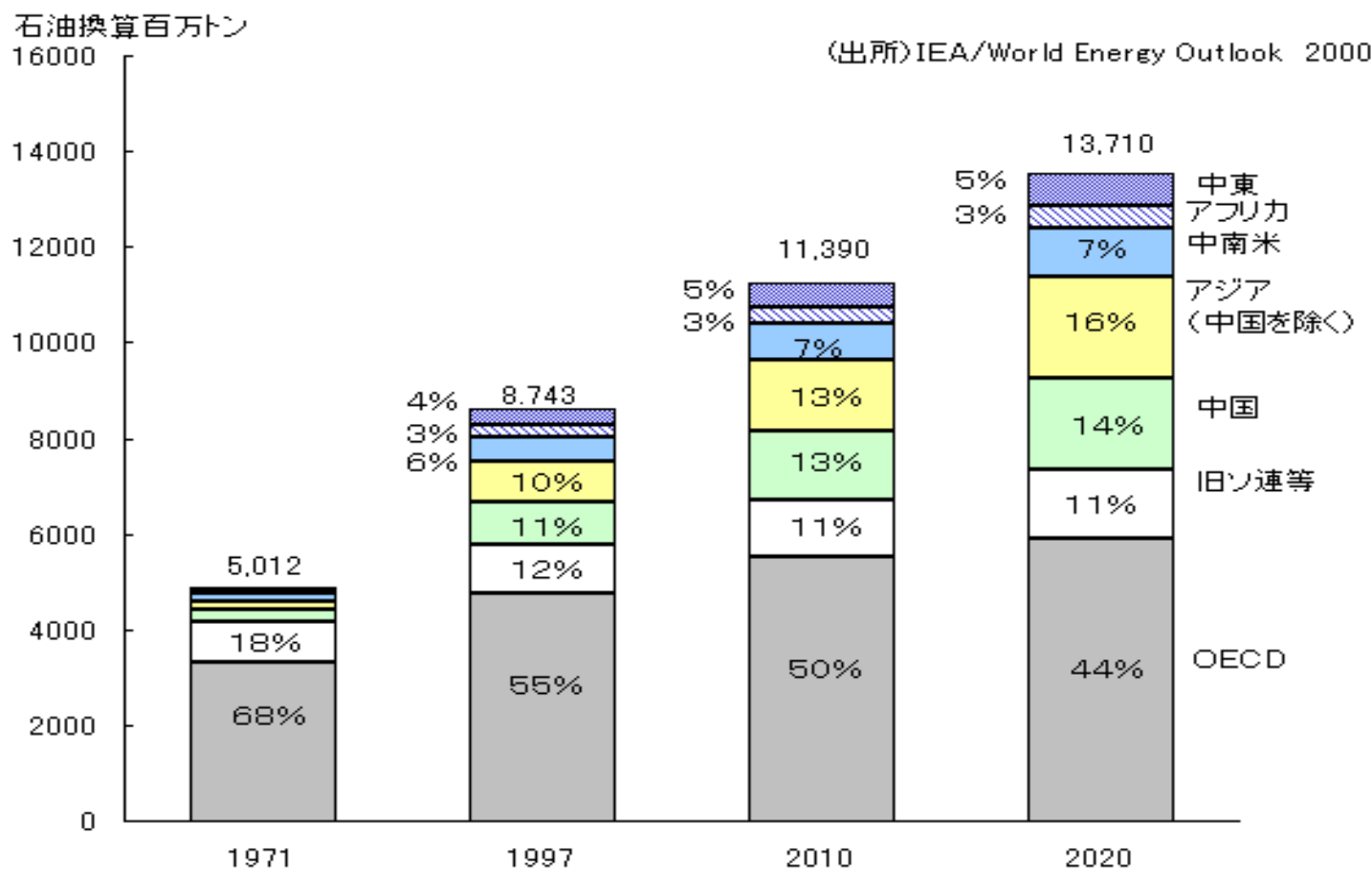
平成15年12月19日

目次

1. 世界のエネルギー需要見通し	1
2. 日本のエネルギー供給量の推移	2
3. 新エネルギーの導入状況と将来予測	3
4. 太陽光発電の現状と今後の見通し	4
5. 日本における風力発電導入量の推移	5
(参考)自然エネルギー、再生可能エネルギーと新エネルギーの定義	6

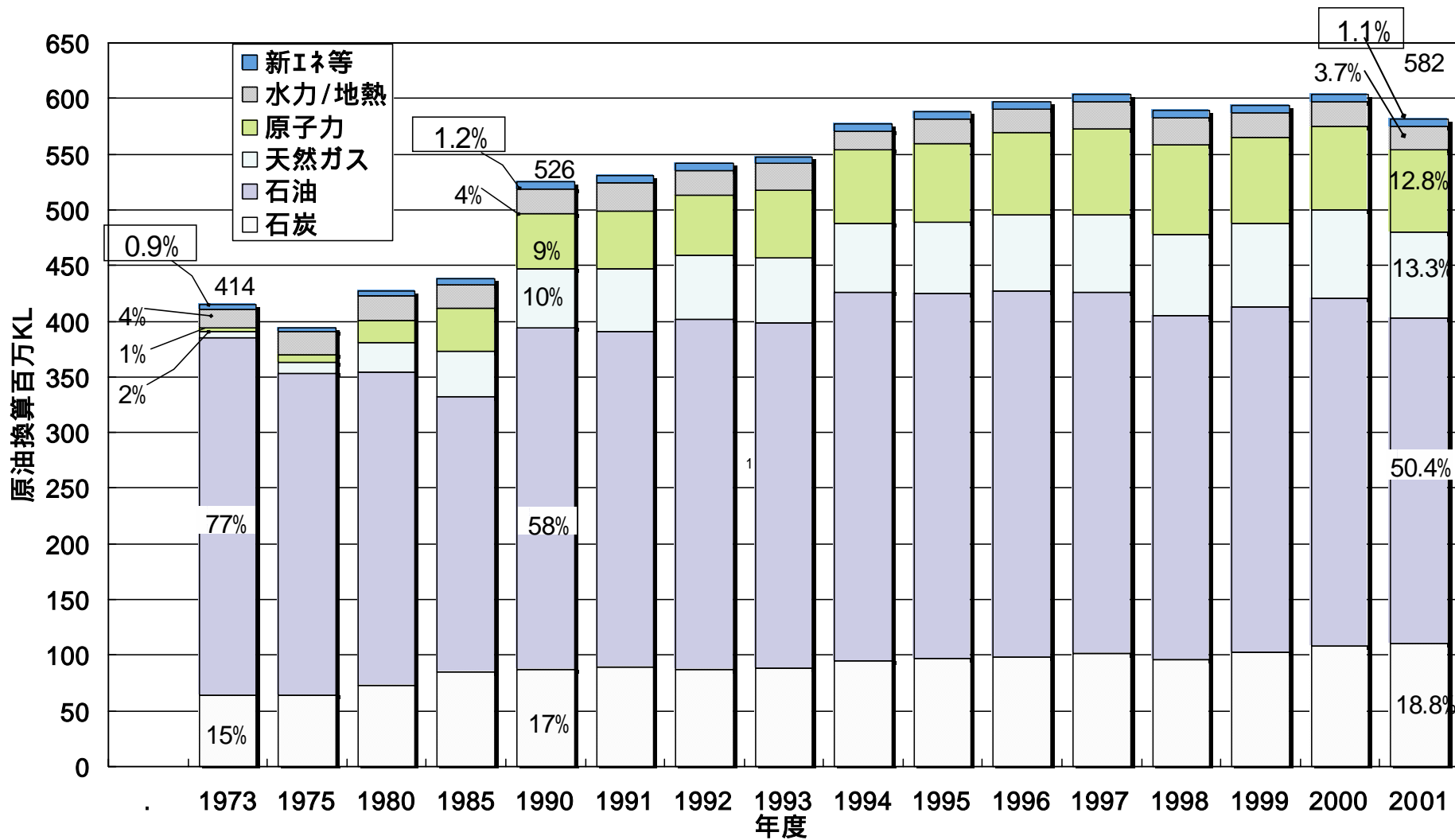
世界のエネルギー需要見通し

「World Energy Outlook 2000」(IEA)によれば、世界のエネルギー需要は、アジアを中心とする発展途上地域におけるエネルギー需要の急速な伸びにより、2020年には97年比で57%増加する見込み。



日本の一次エネルギー供給量の推移

一次エネルギー供給量のうち新エネルギー等の割合は、0.9% (73年度) 1.2% (90年度) 1.1% (01年度) と推移している。

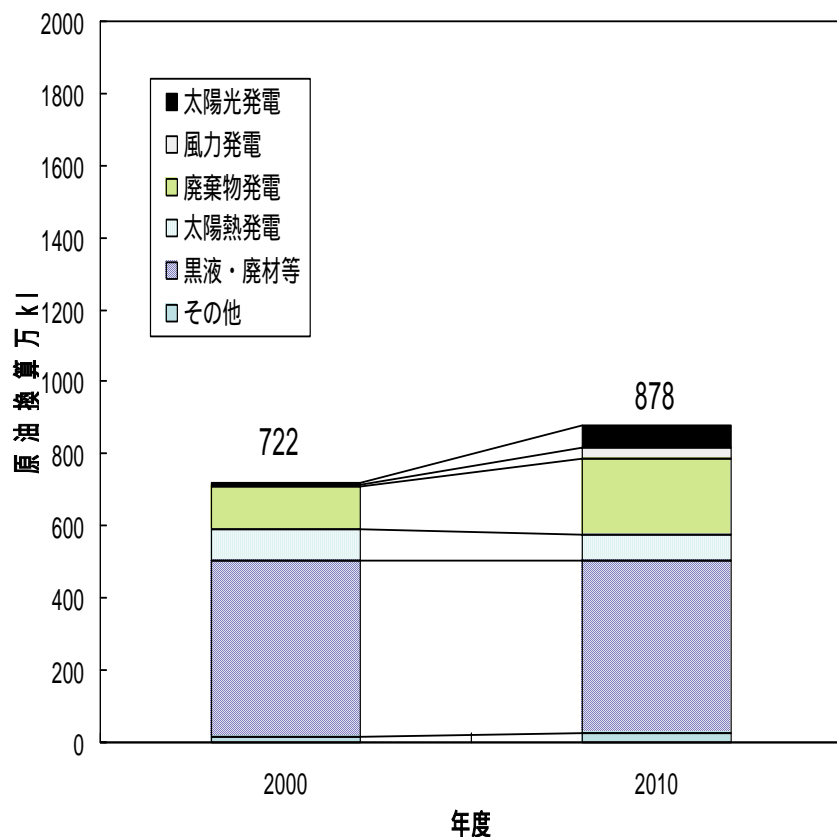


出典：総合エネルギー統計より環境省作成

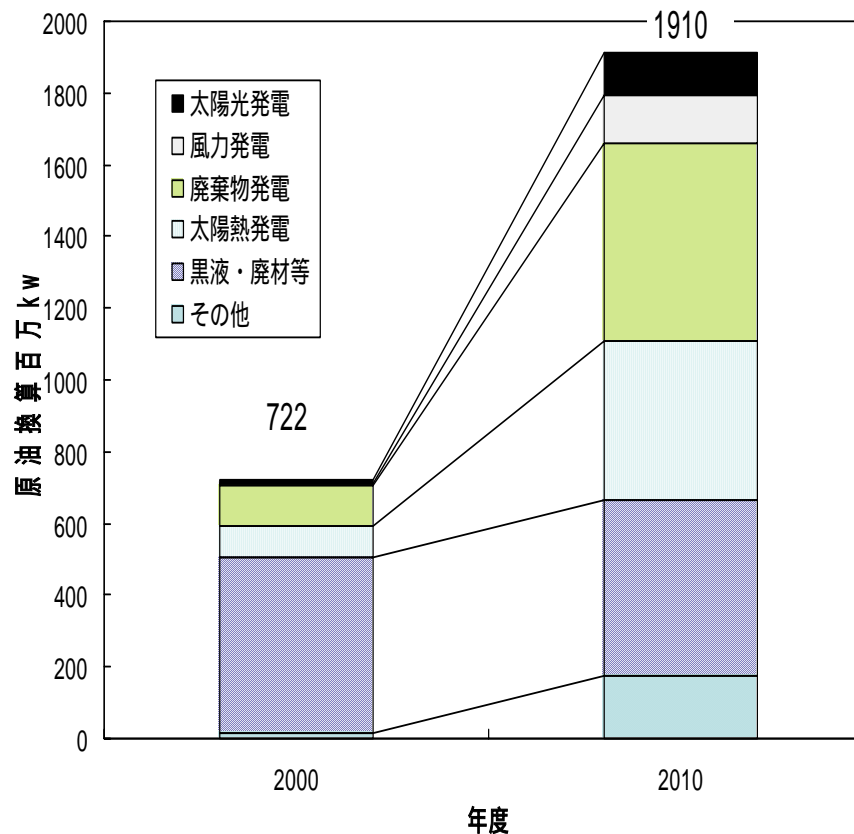
新エネルギーの導入状況と将来予測

新エネルギー利用等の促進に関する基本方針(平成14年12月閣議決定)における新エネルギーの導入目標量は、官民によるコスト低減努力や導入促進のための最大限の取り組みが行われることを前提に2010年度において実現が可能と見込まれる目標量を設定(2000年度実績原油換算722万kl、2010年度目標1910万kl)。

現状対策維持ケース



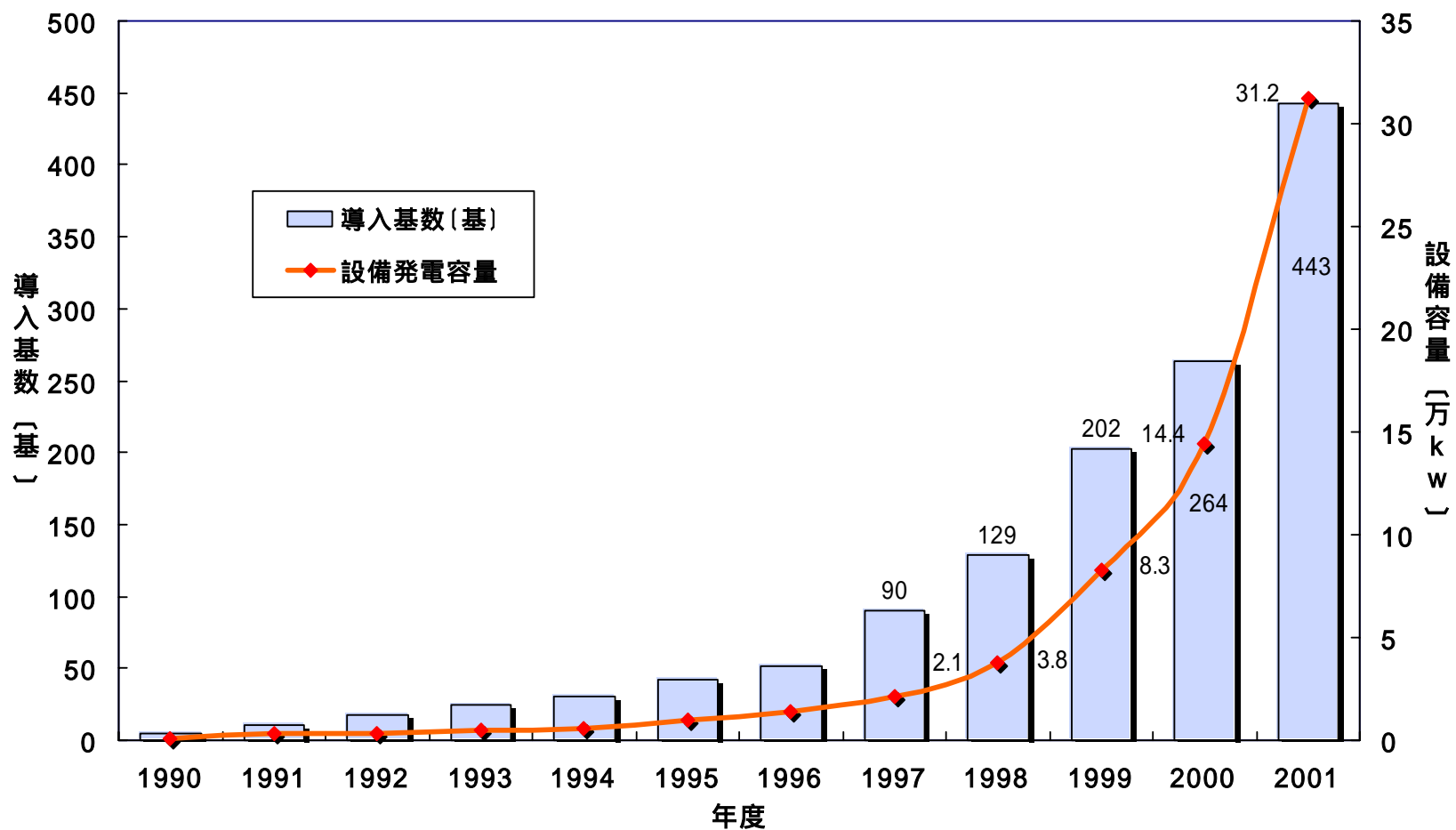
目標ケース



出典:「日本のエネルギー2003」(資源エネルギー庁)より環境省作成

日本における風力発電導入量の推移

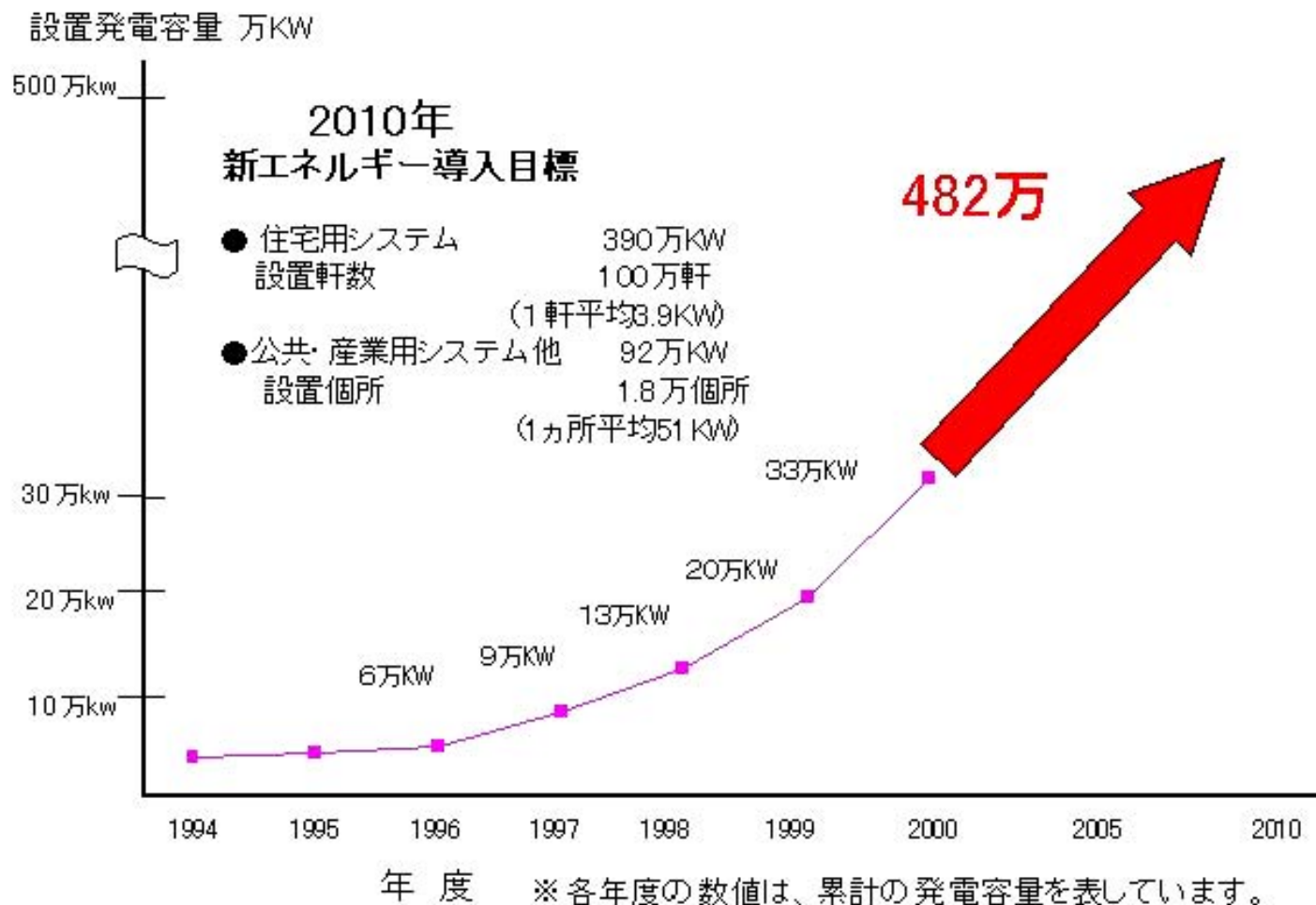
風力発電によるエネルギー供給量は、2001年度で31.2万kwに達し、新エネルギー利用等の促進に関する基本方針(平成14年12月閣議決定)における導入目標によると、2010年に300万kwの導入を目標としている。



出典:「エネルギー2003」(資源エネルギー庁)より環境省作成

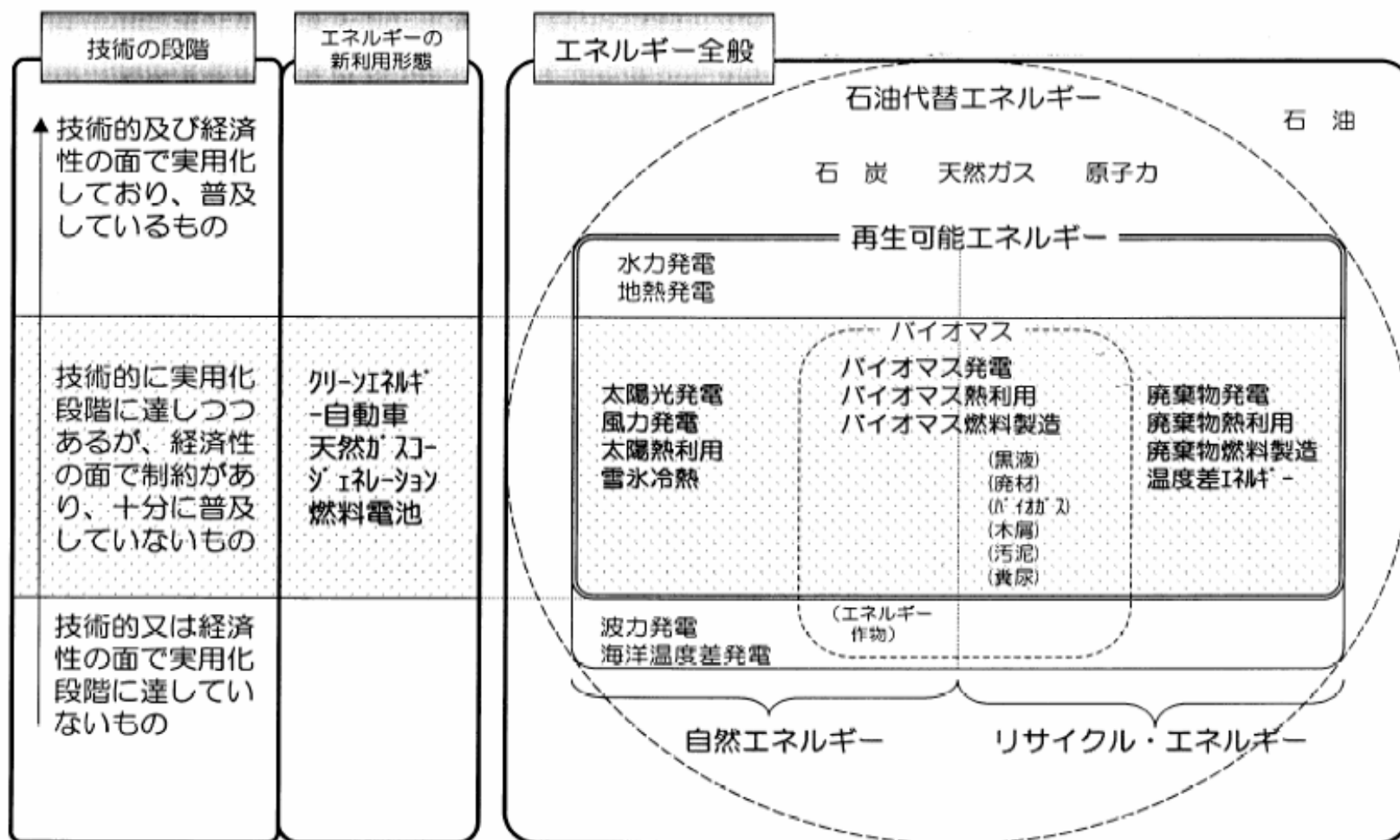
太陽光発電の現状と今後の見通し

太陽光発電によるエネルギー供給量は、2000年度で33万kWに達し、新エネルギー利用等の促進に関する基本方針(平成14年12月閣議決定)における導入目標によると、2010年に482万kWの導入を目標としている。



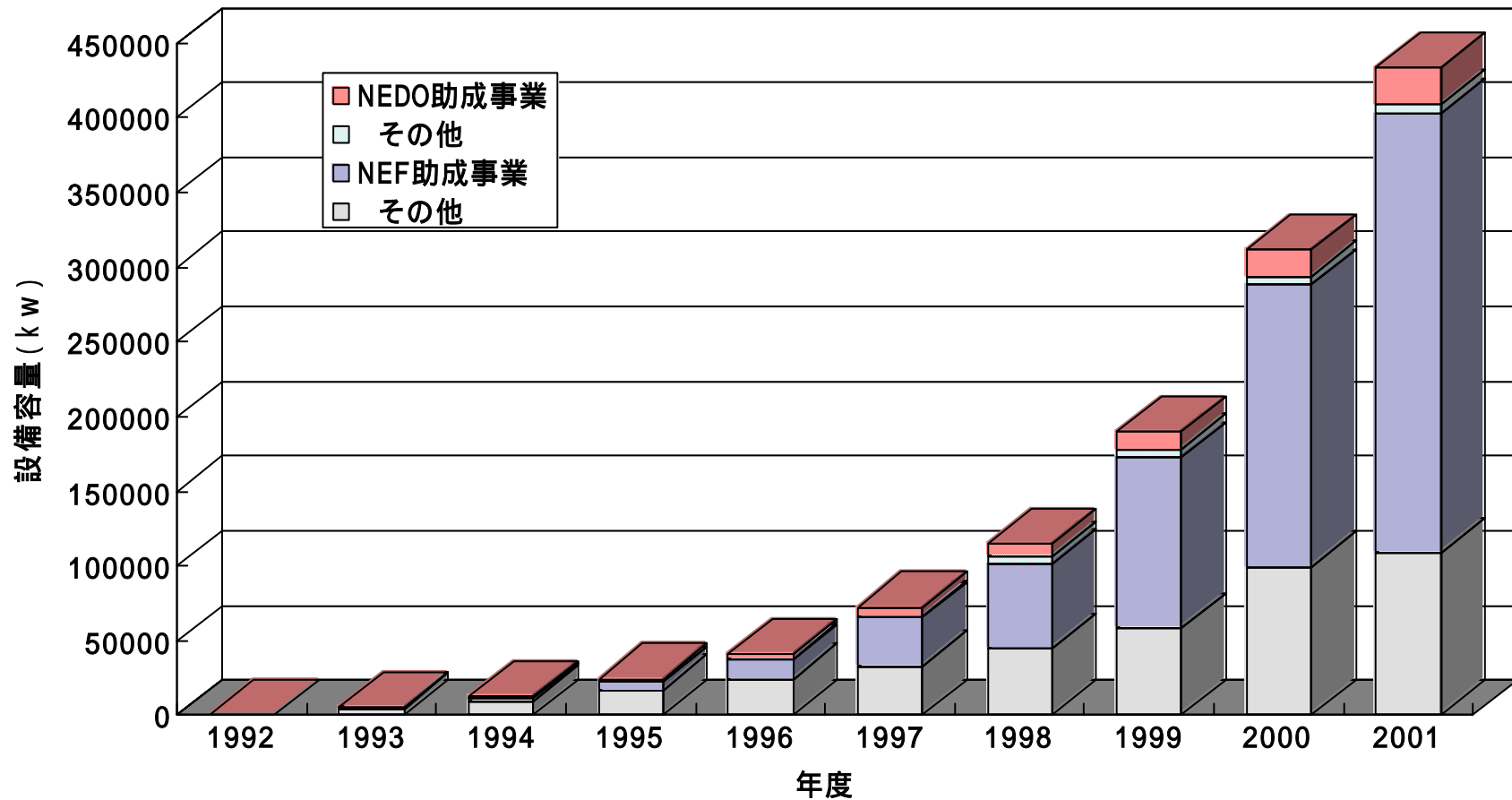
(参考) 自然エネルギー、再生可能エネルギーと新エネルギーの定義

「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」においては、網掛け部分が「新エネルギー等利用」と規定されている。



太陽光発電(普及設備容量)

我が国の太陽光発電の導入実績は、2001年度末で約45.2万KWとなっている。



出典:新エネルギー・産業技術総合開発機構資料より作成
著作権者:新エネルギー・産業技術総合開発機構